



施工完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を



◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1□ クイックファスナーを正しく取り付けられていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

折り曲げる 軽く回ること

※クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

2□ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。
- 止水栓を開けてない状態で操作すると「ブー」と音がすることがあります。

3□ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

4□ 電源が入っていますか

- 電源ランプは点灯していますか。

5□ 温水タンクに水が入っていますか

- 施工完了後、ノズル掃除スイッチを押すと、ノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

※ノズルの左から出る水は、圧力逃がし水であり、水漏れではありません。

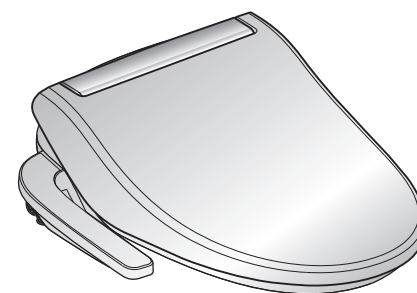
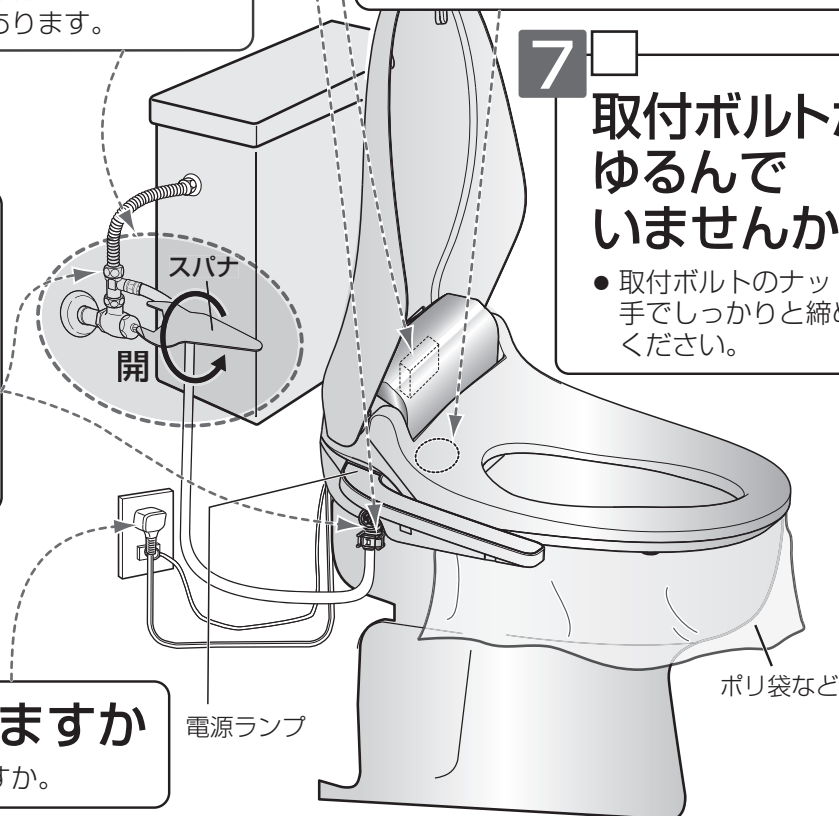
6□ 着座センサーは正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。

便座の左後部を押しながら、
点灯
おしり 点灯
または 押し、洗浄水が上に出ることを確認してください。

7□ 取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



Panasonic

施工説明書

温水洗浄便座 家庭用

品番 DL-EGX20
DL-EGX10

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
- 施工完了後、施工説明書はお客様にお渡しください。
- イラストは、品番により異なる場合があります。

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。

panasonic.jp/toilet/

ページ

1	●安全上のご注意	2
	●施工の前に	3
	●各部の名前と同梱部品の確認	4
2	●施工の流れ	6
	●止水栓を閉める	8
	止水栓がある場合 止水栓がない場合	
	●分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける	9
	初めて温水洗浄便座を取り付ける場合	
	既設の温水洗浄便座から取り替える場合	10
3	●給水ホースを取り付ける	12
	●本体を取り付ける	13
	●アース線の接続	14
	●止水栓を開ける	15
4	●試運転	16
5	●こんなときは	18
	●施工完了チェックシート	裏表紙

お願い ●試運転は、必ず行ってください。(16ページ) 配管方法などはイラストと異なる場合があります。

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2013



DL949A-S6CP1
CS0513-1073

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

注意

D種接地工事を行う
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

水場使用禁止
バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない
感電や火災の原因。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。
施工は、施工説明書に従って確実に行う
説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因。
施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する
指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因。
電気工事は、内線規程に従って施工する
内線規程に従わないと、火災、感電の原因。
コンセントのアース端子にアース線を取り付ける
アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因。
電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因。
上水道以外には接続しない
ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因。
腐食や異物付着による水漏れの原因。

水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う
条例に基づいて行わないと、水漏れの原因。
移動や施工時、本体を持つ
便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因。

本体接続部は、落下等でストレスをかけない
ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因。

施工の前に

お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まない。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工する。
- 必ず同梱の分岐金具をご使用ください。

お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出るありますが、故障ではありません。
- 使用水圧範囲は49～735 kPa、 {0.5～7.5 kgf/cm²} です。
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

給水管の長さの確認

同梱のフレキシブルパイプの長さは300 mmです。
フレキシブルパイプは切断しないでください。
右図のA寸法が、約150～330 mmの場合は、取り付けできます。
上記以外で②③の場合は、部材購入が必要です。

同梱のフレキシブルパイプ（給水管）

300 mm ← 口径：G1/2

①A寸法が約150～330 mmの場合の施工例

②A寸法が約150～330 mm以外の場合
別売品またはホームセンターなどで市販品を購入してください。

	フレキシブルパイプの長さ	品番	本体希望小売価格
別売品	250 mm	☆ AD-HS25B	630円 (税抜600円)
	350 mm	☆ AD-HS35B	756円 (税抜720円)
	400 mm	☆ AD-HS40B	809円 (税抜770円)
市販品	400 mm以上	A寸法の市販品を購入してください。	

☆は、システム部材開発センター扱い（別売品）です。
価格は2013年8月現在の希望小売価格です。
価格・品番は変更される場合があります。

③給水管が短い場合
または外れない場合
A寸法が約150 mm以下
ではフレキシブルパイプが曲げられず、取り付けられません。この場合、9ページを参照してください。

ご準備いただくもの

メジャー

プラスドライバー

モンキーレンチ

バケツ・ぞうきん

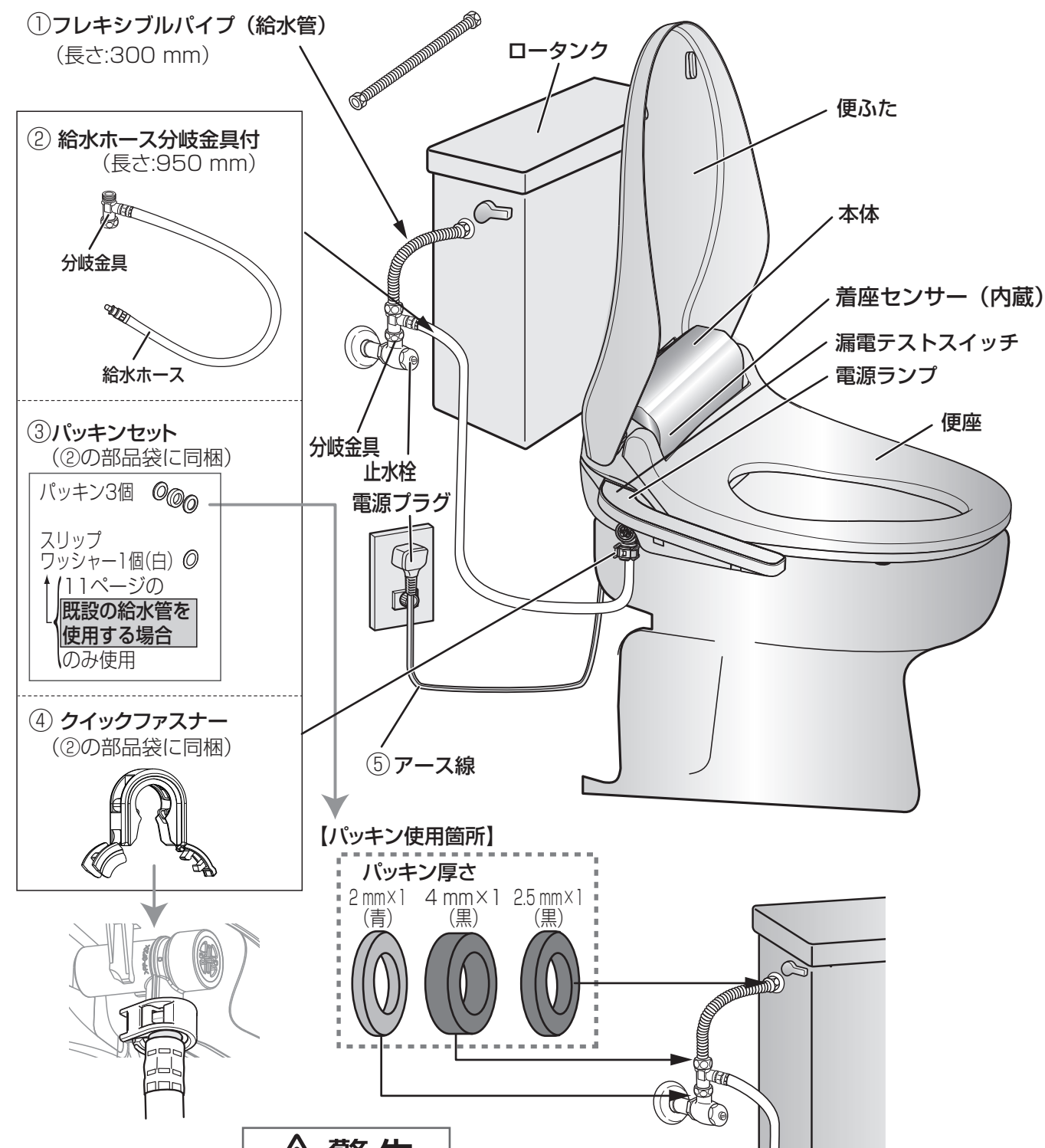
準備

2

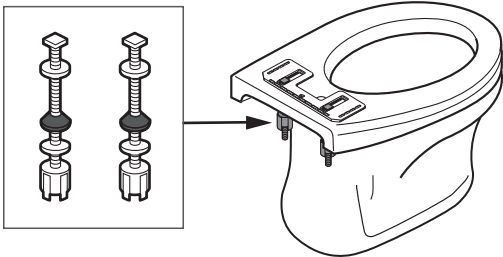
3

各部の名前と同梱部品の確認

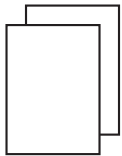
施工方法によっては、パッキンなど、使用しない部品があります。



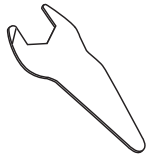
⑥ 取付ボルトセット



⑦ 説明書セット
（取扱説明書・施工説明書）



⑧ スパナ



【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 ☒ チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	フレキシブルパイプ（給水管）	1	<input type="checkbox"/>
②	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
③	パッキンセット （パッキン 薄い:黒2.5 mm厚さ×1 パッキン 青2 mm厚さ×1 パッキン 厚い:黒4 mm厚さ×1 スリップワッシャー（白）×1）	1	<input type="checkbox"/> （②の部品袋に同梱）
④	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> （②の部品袋に同梱）
⑤	アース線（本体接続済み）	1	<input type="checkbox"/>
⑥	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑦	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	<input type="checkbox"/>
⑧	スパナ	1	<input type="checkbox"/>

【別売品】 （サービスルート扱い）

記号	部品名	部品品番 ※	数量
①	別売分岐水栓・キャップセット （9ページ） （分岐水栓 キャップカバー キャップA パッキン大:黒2.5 mm厚さ×1 説明書）	ADL531A-B4JS	1

※部品品番は予告なく変更することがありますので
ご了承ください。

別売品の①は、配管の状態によって必要な
場合があります。販売店でご購入ください。

準備

警告

同梱のパッキン、クイックファスナーを使用する

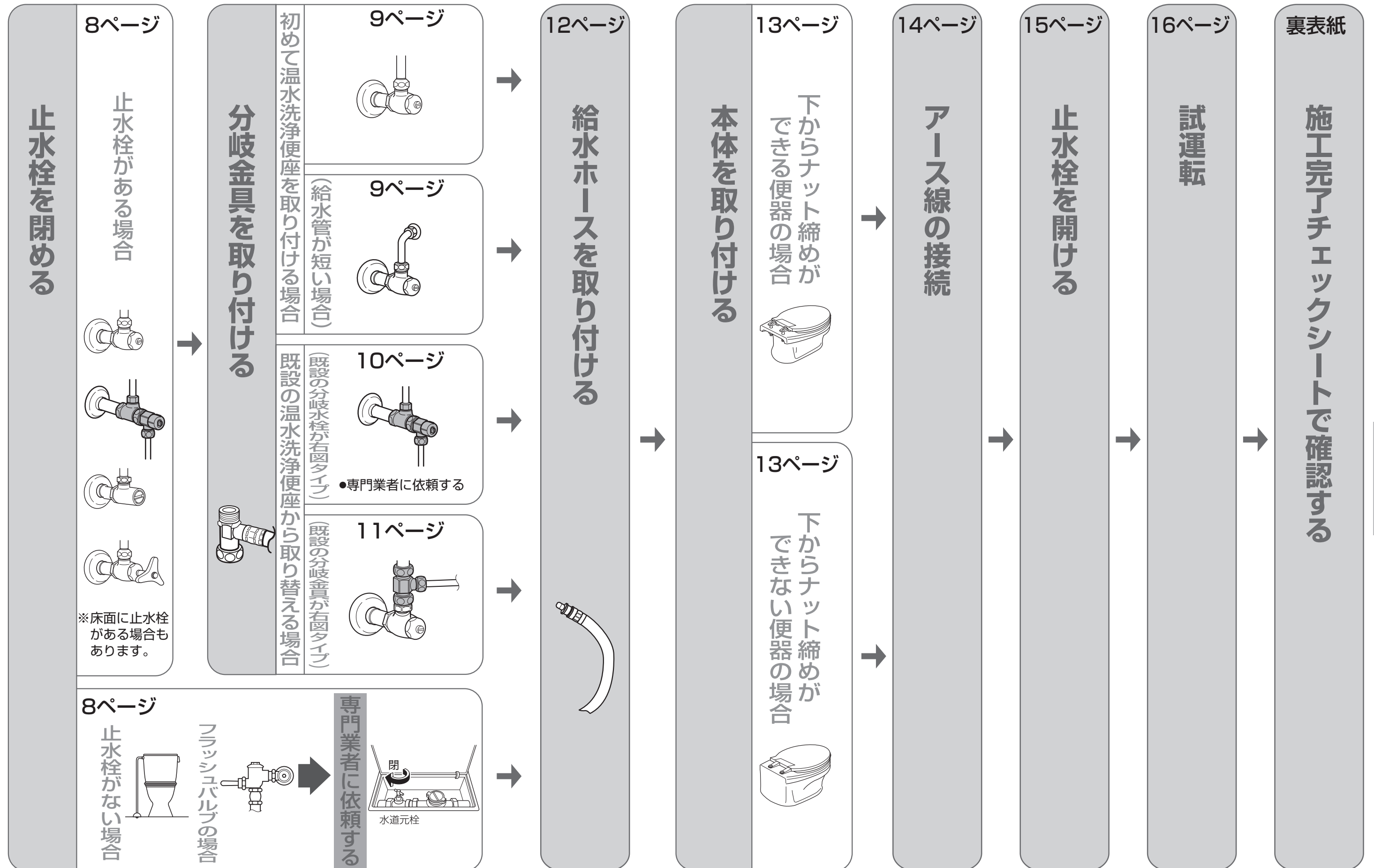
❗ 取り付け忘れや、他の部品で接続すると
重大な水漏れのおそれあり。

分岐金具接続時にシールトープを使用しない

❌ シールトープがパッキンに挟み込み水漏れのおそれあり。

施工の流れ

パナソニックホームページで
取り付け手順を動画で公開しています。
panasonic.jp/toilet/



止水栓を閉める

■止水栓がある場合

●マイナス溝タイプ

止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流し切ってください。

●ハンドルタイプ

既設の分岐水栓

9～11ページ 分岐金具を取り付ける

■止水栓がない場合 → 施工については専門業者に依頼してください

分岐金具を取り付ける (分岐金具の締め付け方)

★は、同梱部品です。
☆は、システム部材開発センター扱い(別売品)です。
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

→9ページ参照

寒冷地用の給水管(止水栓なし)から給水する場合

1 水道の元栓を閉める

2 給水管に分岐金具を取り付ける

注意
●取り付け順・方向を間違わない。

約620mm

品番:
☆AD-T5MF7NX (TOTO製)

パイプカッターで切断
分岐金具への差込は約10mmを必ず確保する。

フラッシュバルブから本体へ給水する場合

TOTO製の場合

1 水道の元栓を閉める

2 分岐金具を取り付ける

- 右図のような取付口がある場合、アダプターは不要です。
- 分岐口有りの場合は、別売品のアダプターを取り付ける。
- 分岐口無しの場合は、接続管を取り付ける。

1. フラッシュバルブ本体から接続管を外す。
2. フラッシュバルブ用アダプター(別売品)を取り付ける。
3. 分岐金具の異径アダプター側をふさぐ。
4. アダプターに分岐金具を接続する。

☆パッキン (薄黒2.5mm厚さ)

☆分岐金具

異径アダプター側をふさぐ

ゴムパッキン (ゴム座)

アダプターに付属

INAX製の場合

1 水道の元栓を閉める

2 ②部を外す

3 フラッシュバルブ用アダプターを取り付ける

化粧カバーなし (ボルトむき出し)

化粧カバーあり

AD-K012SWS

AD-K011SWS

フラッシュバルブ用アダプター

異径継手 (パッキン付)

flush

パッキン

②部

☆パッキン (青2mm厚さ)

☆分岐金具

☆別売品: フラッシュバルブ用アダプターセット

☆別売品: フラッシュバルブ用アダプター

☆別売品: フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が付いている場合

☆別売品: フラッシュバルブの止水栓に、分岐口が無い場合

図②のA寸法が120mmの場合 ☆AD-TH484

図②のA寸法が120mm以外で、普通形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH502-1R (1S)

図②のA寸法が120mm以外で、節水形フラッシュバルブの場合 ☆AD-TH347-1R (1S)

図③のように曲がり管の場合 ☆AD-TH484-1

図① 分岐口 ☆AD-TH343R

図② 曲がり管

図③

☆分岐金具

4 フラッシュバルブ用アダプターに分岐金具を取り付ける

☆別売品: キャップセットDL542A-Z6JS0

☆別売品: キャップA (大) (黒2.5mm厚さ)

☆別売品: パッキン (大) (黒2.5mm厚さ)

☆別売品: パッキン (小) (黒2.5mm厚さ)

☆別売品: キャップB (使用しません)

☆分岐金具

詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

◎取付後、水道の元栓を開けてください。

12ページ 給水ホースを取り付ける

初めて温水洗浄便座を取り付ける場合

分岐金具 (給水ホース付き) を取り付ける

●ロータンクの下からの給水の場合は、止水栓と給水ホースの間に分岐金具を取り付けてください。
(フレキシブルパイプは使用しません)

★は、同梱部品です。
⊕は、サービスルート扱い(別売品)です。

1 止水栓が閉まっていることを確認し、給水管を外す

●配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

2 分岐金具を止水栓に、取り付ける

〈分岐金具の締め付け方〉

回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する

手で仮締めをし、同梱のスパナで締め付ける

締め付トルク 10～15 N・m {100～150 kgf・cm}

指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない

11ページ 分岐金具を取り付ける ② 給水管の取り付け

給水管が短い場合、給水管が外れない場合

下記の別売品を販売店で購入してください。

ロータンクの給水口と止水栓の間の距離が短く本体同梱の分岐金具とフレキシブルパイプが接続できない場合や、給水管が外れない場合は、別売の分岐水栓を下記に従って接続してください。

〈別売品A〉別売分岐水栓・キャップセット (品番: ADL531A-B4JS)

分岐水栓 1個

パッキン (大) 1個 (黒2.5mm厚さ)

キャップA (大) 1個

キャップカバー 1個

説明書 1枚

1 水道の元栓を閉める

2 別売品の分岐水栓を取り付ける

3 本体同梱の分岐金具を取り付ける

別売品の分岐水栓

止水栓

別売品のパッキン (大) (黒2.5mm厚さ)

別売品のキャップA (大)

別売品のキャップカバー

分岐金具

本体同梱のフレキシブルパイプは使用しません

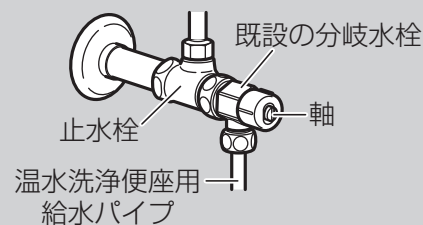
詳しい取り付け方法は、別売品の説明書を参照してください

12ページ 給水ホースを取り付ける

施工

分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける

既設の分岐水栓が
下図のタイプ ①



閉

開

一般的なマンションの場合

閉

水道メーターと一体になった元栓の場合

閉

止水栓キーなどで閉める
埋込み式の元栓の場合

止水栓キー

既設の分岐水栓

止水栓

外す

バケツ

止水栓

止水栓コマ

栓棒

座金

バックリン

キャップ

閉

止水栓

★分岐金具

★パッキン
(青2mm厚さ)

止水栓

別売品の
分岐水栓

止水栓

パッキン付き

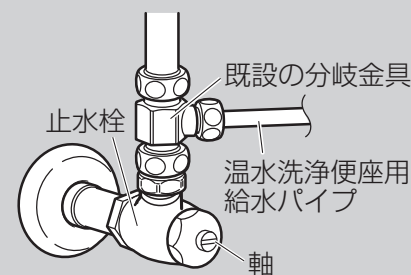
★分岐金具

別売品の
キャップA

別売品の
キャップカバー

別売品の
パッキン
(黒2.5 mm)

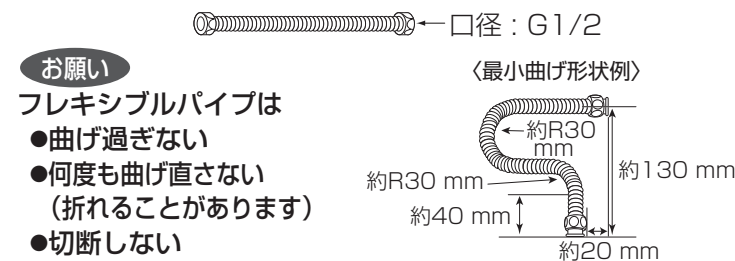
既設の分岐金具が
下図のタイプ②



給水管
既設の分岐金具
給水ホース
外す
★分岐金具
袋ナット
★パッキン (青2m)

★パッキン
(青2 mm厚さ)

- 曲げ過ぎない
- 何度も曲げ直さない
(折れることがあります)
- 切断しない
- 長さが合わないときは、別売品または、ホームセンターなどで市販品を購入してください。



手洗いボール

ロータンク

★パッキン
(薄い:黒2.5 mm厚さ)

袋ナット

★パッキン
(厚い:黒4 mm厚さ)

★分岐金具

止水栓

(ご注意)
袋ナットを
締めすぎるとパッキン
が切れ、水
漏れします。

モンキーレンチ
等で下から固定

ロータンクに水が入らない、
止まらないの防止をする

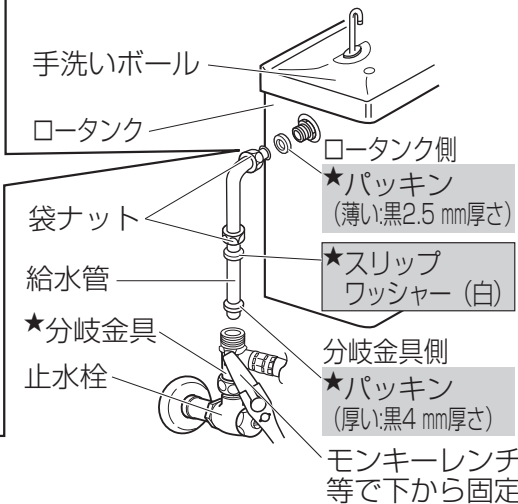
ボール
タップ
本体

袋ナット

ロータンク

- ボールタップが回転しない
ようにしっかり持って袋
ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り
付けられると浮子がタンク
側壁と干渉して止水不良の
原因になります。

- 分岐金具側に給水管を接続し、ロータンク給水口にあような長さに給水管を切断。
(フレア加工している場合は、切断長さに注意)
- 分岐金具への差込代は約10 mmを必ず確保する。



給水ホースを取り付ける

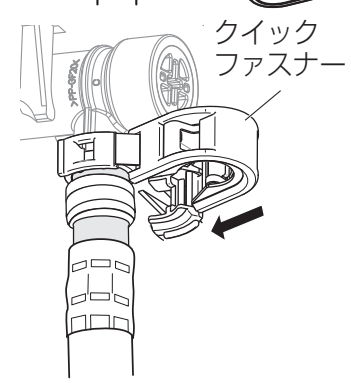
重要：給水ホースを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

1 本体への接続

- 給水ホースのOリング部にゴミがないことを確認し、本体接続口にまっすぐ差し込む。
(ご注意) 給水ホースをねじって差し込むと、Oリングが切れるおそれがあります。
(お願い) 既設の給水ホースは使用しないでください。(劣化により水漏れの原因)

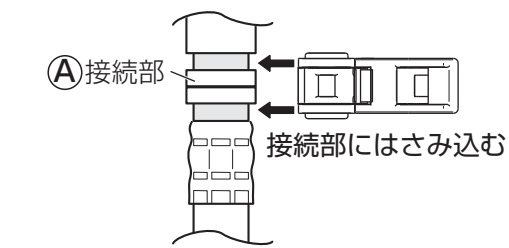


- クイックファスナーを給水ホースと本体接続部に確実に奥まで差し込む。
(「パチッ」と音がするまで差し込む)

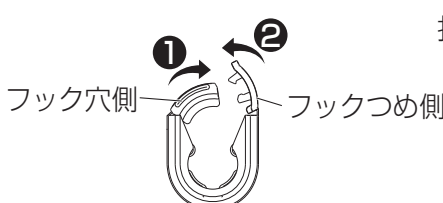


お願い
●フックが閉じないときは、A接続部に確実に奥まで差し込まれていないため、再度クイックファスナーを差し込み直してください。

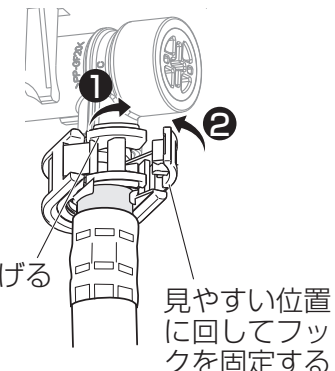
ご注意
●給水ホースは切断しない
●給水ホースに刃物など鋭利なもので傷を付けない
●本体接続口にOリングが咬み込まないようにまっすぐに差し込む



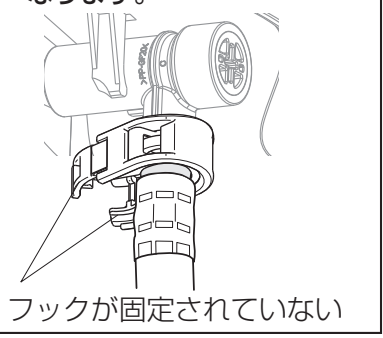
- フックを確実に固定する
1 フック穴側を折り曲げる
2 フックつめ側をフック穴側に折り曲げ固定する
(「パチッ」と音がするまで固定する)



- 給水ホースが回らないように持ってクイックファスナーが軽く回ることを確認する。
※軽く回らない場合は、正しい位置に取り付けられていません。



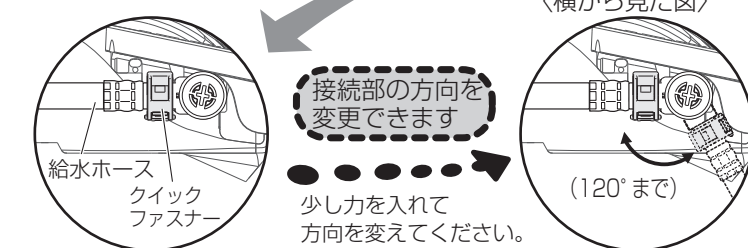
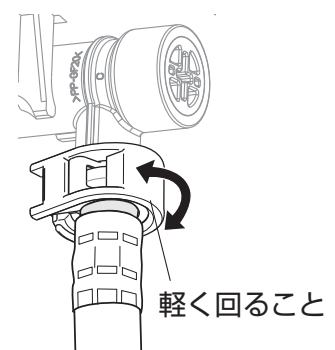
悪い接続例
※フックが確実に固定されていないとクイックファスナーが外れ、重大な水漏れの原因となります。



お知らせ
給水ホースが短い場合は、別売品を販売店でご購入してください。
1300 mm用 AD-DL531-13
2500 mm用 AD-DL531-25
(別売品は、給水ホースと分岐金具が別々になっています。分岐金具側もクイックファスナーで接続してください。)

2 必ず確認

- クイックファスナーが確実に固定されているか確認してください。
- 給水ホースを引っ張って、本体接続口から抜けないことを確認してください。



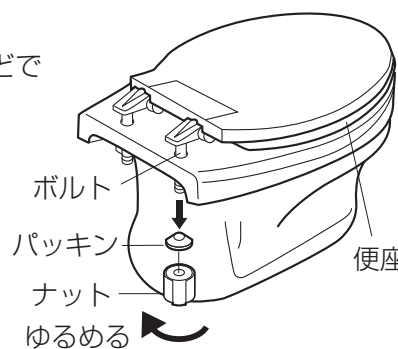
本体を取り付ける

下からナット締めができる便器の場合

下からナット締めができない便器の場合

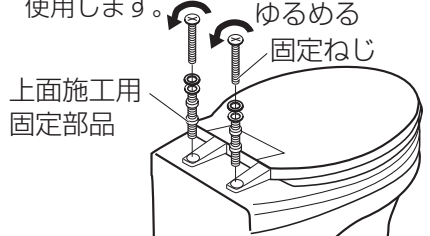
1 既設便座の取り外し

- ナットをモンキーレンチなどでゆるめる。
- ナットとパッキンを外し便座を取り外す。



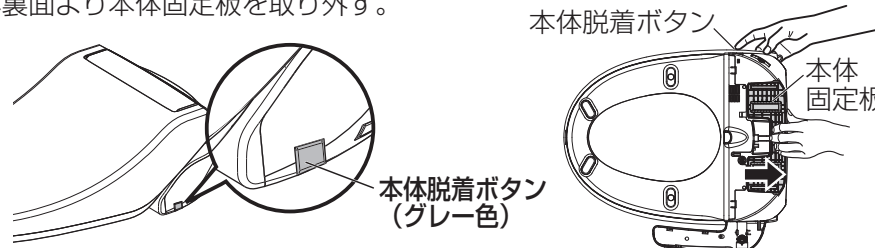
(ナットがさびてゆるまないときは)
●市販のねじゆるめスプレー剤などでゆるめる。
●取れないときは、金のかでボルトを切断する。

- 固定ねじ2本をゆるめ、取り外す。
●取り外した部品は、取り付け時に使用します。



2 本体固定板の取り外し (共通)

本体裏面より本体固定板を取り外す。

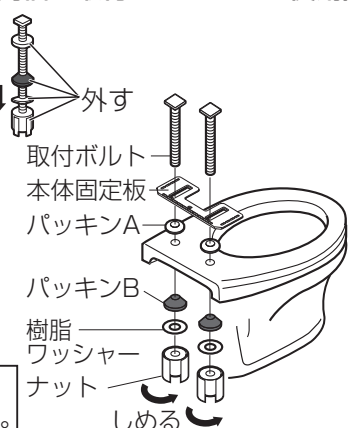


●本体脱着ボタンを奥までしっかり押し込みながら、本体固定板を矢印方向に引き出す。

3 本体固定板の取り付け

(同梱の取付ボルトセット使用) (既設の部品を使用)

- 取付ボルトからナット・樹脂ワッシャー・パッキンB、パッキンAを外す。
- 本体固定板に取付ボルトを差し込み、パッキンAを取付ボルトに取り付ける。
- 取付ボルトを便器の穴に差し込む。
- 取付ボルトにパッキンB・樹脂ワッシャーの順で取り付けした後、本体固定板が動かない程度にナットを手で回し、仮締めする。



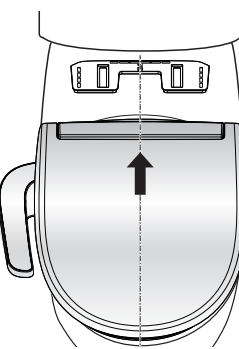
取付ボルトが長すぎるときは
●金のかなどで適当な長さに切断する。

- 位置を決め、取り外した既設部品を使用し、本体固定板を便器に動かない程度に仮締めする。



4 本体の取り付け (共通)

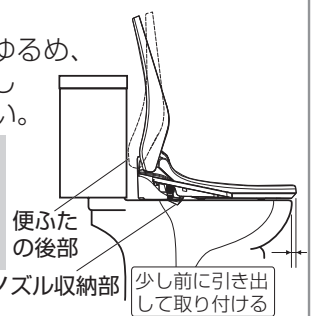
- 本体固定板の中心と本体の中心を合わせる
- 本体後部を少し浮かし、便器面から本体をすべらせカチッと音がするまで押し込む。(ノズル収納部が便器に乗り上げないこと)
●電源コードをはさみ込まないようにしてください。
- 本締めする



■便器のサイズにより、開いた便座や便ふたが倒れてきたり、便ふたがロータンクに当たる、する等のときは

⇒本体固定板のボルトをゆるめ、本体を少し前に引き出し取り付け直してください。

便座を開き、ノズル収納部付近の本体裏面と便器との間に隙間がないことを確認する。



下からナット締めができる便器の場合

ナットを手でしっかり締め付ける
(お願い) 工具でナットを締め付けしないでください。

下からナット締めができない便器の場合

本体脱着ボタンを押しながら本体を手前に引き出し、固定ねじをプラスドライバーで締め付ける。

本体が便器から脱着できる構造のため、少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。

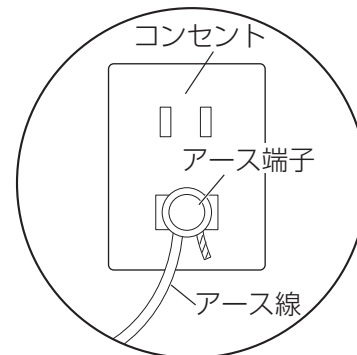
本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

取付

アース線の接続

必ずコンセント側へ接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)

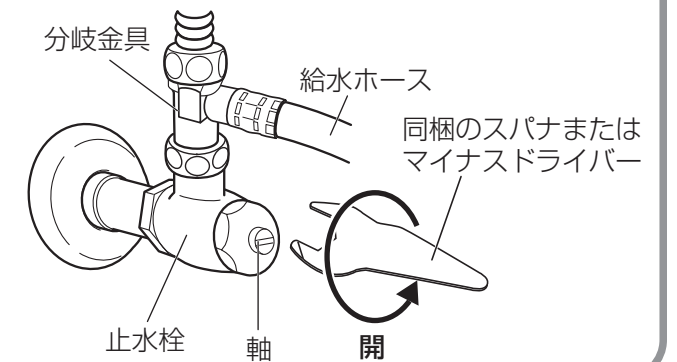


上図はアース付きコンセントの一例です。

止水栓を開ける

各接続部がしっかりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 手洗いボールから水があふれたり、飛び散らない程度に止水栓の軸をゆっくり開けてください。
- 十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります。



試運転

試運転の前に… 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認してください。
(十分開いていないと洗浄強さが得られないことがあります)
給水接続部から水漏れがないかを確認してください。

手 順

1 本体梱包用のポリ袋などはさむ
(便座と便器の間)

2 電源プラグを差し込む
●電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。

3 漏電テストスイッチを2秒以上押す
漏電検知機能が作動し、電源が切れます。
(漏電テストランプ点灯、電源ランプ消灯)

4 電源プラグを抜く
●漏電テストランプが消灯することを確認する。

5 電源プラグを差す
●電源ランプが約10秒間点滅後点灯に変わります。
●温水温度設定が「切」になっていることを確認する。



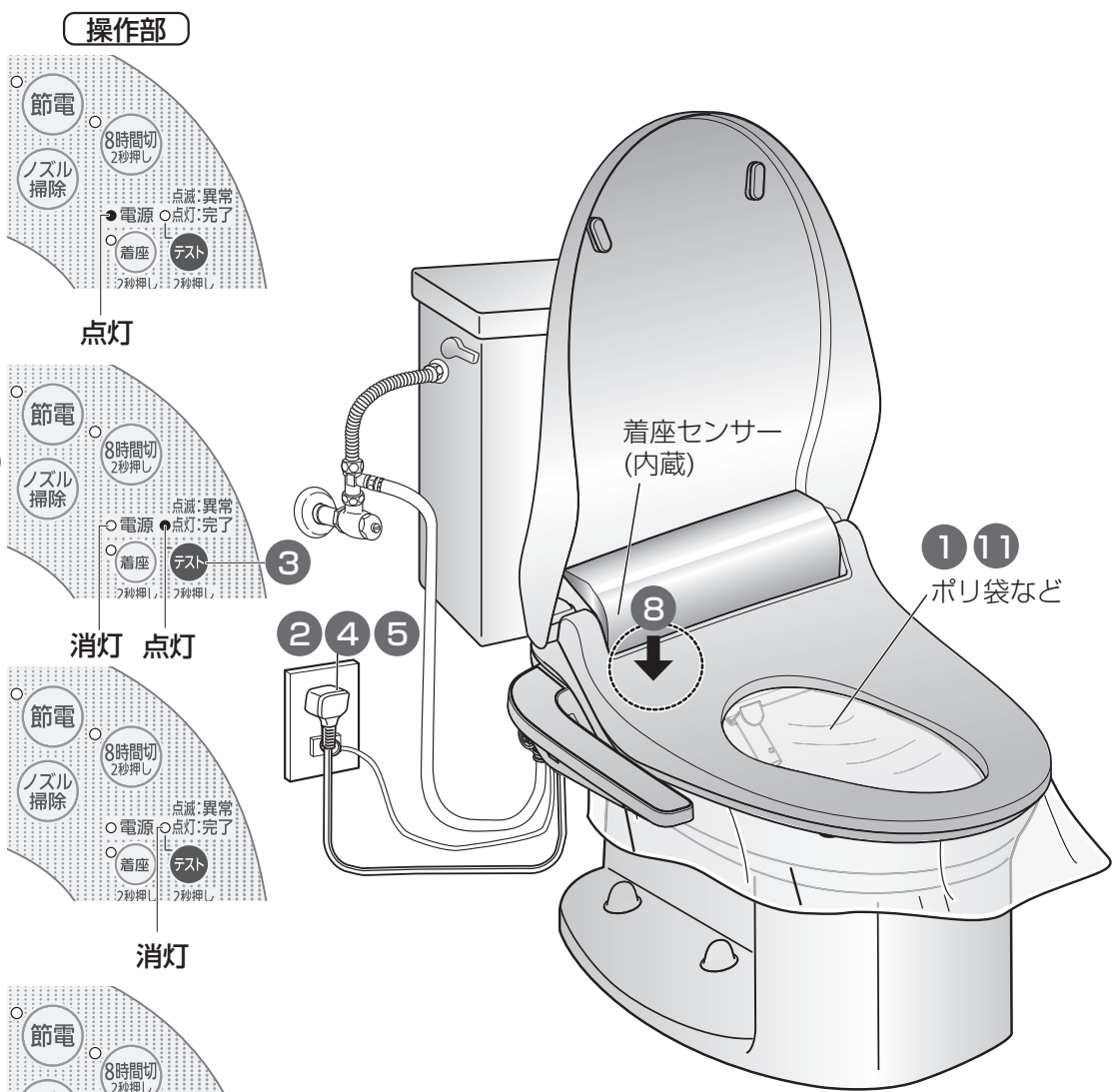
消灯

点灯

温水タンク内の空焚きについて

- 試運転の手順 6 の時点で、温水温度ランプの「高」「中」「低」が全点滅している場合は、温水タンク内の空焚き表示です。故障ではありません。
<以下の処置をする>
 - 水道の元栓、止水栓を開き、手順 6 から試運転を行う。(温水温度ランプは消灯します)

お知らせ ●漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
●便ふたや便座の上から押さえると、着座ランプが点灯し、脱臭が始まります。また、その状態で洗浄スイッチを押した場合、洗浄水が出ます。



6 ノズル掃除を押す
●本体の温水タンクに注水を始めます。
ノズルが出て、約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

7 停止を押す
●ノズルが元に戻ります。

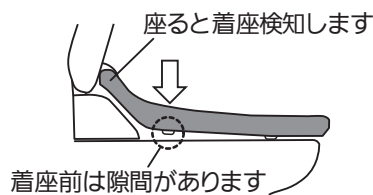
8 便座の左後部を押しながら（着座ランプ点灯）
おしり または ビデ を押す
●脱臭が始まります。(DL-EGX20のみ)
●ノズルを洗浄し、約5～8秒後に洗浄水が出ます。
(着座検知していないと、洗浄水が出ません)

9 停止を押す
●ノズルを洗浄する水が出ます。

10 便座と温水のスイッチで温度設定し、通電約5～12分後に便座と洗浄水のあたかさを確認する
●ポリ袋の上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

11 ポリ袋を外す


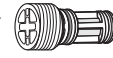
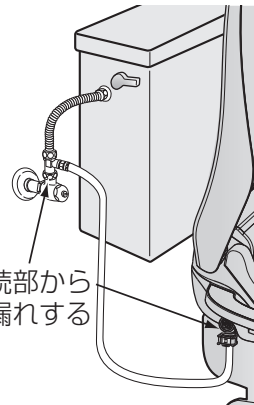
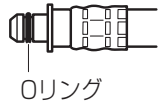
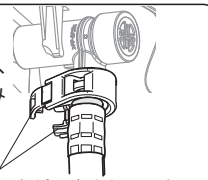



洗浄停止後、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。
(洗浄後、約7～8分)



便座の後ろ脚と、前の片側の脚が浮いている状態が正常です。
この浮き（隙間）がないと座ったときに着座検知しません。

こんなときは

メモ欄

現 象	考えられる原因と処置方法		
温水温度ランプの「低」「中」「高」が全点滅する 	● 水道の元栓、止水栓が開になっていない	水道の元栓、止水栓が開いていることを確認し、再度試運転を行う	16 17
	● 温水タンクに注水する前に温水の温度設定を行った		
「ブー」と音がする 洗浄水が出ない 洗浄強さが弱い	水道水フィルター（水抜き栓）がつまっている 	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が全開になっていない	水道の元栓を全開にする	10
	止水栓が開になっていない	止水栓を開にする	15
	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	—
ロータンクの水が入らない、止まらない	ロータンク内の浮子がゆがんでいる	浮子がゆがまないように袋ナットを締め付け直す	11
手洗いボールから水はねする	水圧が高く給水量が多い	止水栓を適量に絞る	15
 接続部から水漏れする	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	12
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	—
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	11
	クイックファスナーの差し込み不足やずれ  フックが固定されていない	確実に固定する  軽く回ること	12
	テストスイッチを押したなどで漏電検知機能が作動（漏電テストランプが点灯）  点滅: 異常 点灯: 完了 着座 テスト 2秒押し 2秒押し 消灯 点灯	電源プラグをコンセントから抜き、漏電テストランプが消灯してから電源プラグを差し込む 	16

施工後の注意 凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防・長期間使用しないときは」参照）

確認